

DX 実現のための新規事業開発入門

- [概要] IPA の『DX 動向 2024』によれば、日本の DX は、アナログ・物理データのデジタル化（デジタルイゼーション）や業務の効率化による生産性の向上（デジタルイゼーション）は進んでいますが、新規製品・サービスの創出や顧客起点の価値創出によるビジネスモデルの根本的な変革などを行うデジタルトランスフォーメーションには至っていないというのが現状です。これを打破していくにはデジタル技術を活用した新規事業開発が必要です。この研修では新規事業開発のプロセスを理解したうえで、そのファーストステップである新規事業市場機会の発見を既存製品・サービスから発見する方法とデザイン思考を活用して発見する方法を習得することができます。
- [学習目標]
- ・新規事業開発のプロセスを理解する
 - ・既存製品・サービスからの新規事業市場機会の発見方法を理解する
 - ・デザイン思考を活用した新規事業市場機会の発見方法を理解する
- [受講対象者]
- ・新規事業開発を行う方
 - ・新規事業開発を支援する方
- [前提条件] 特になし
- [日数] 1 日間
- [形式] 講義＋演習（講義中心 80：20）
- [時間] 9：30～17：00
- [研修に必要なもの]
- 講師用：（オンラインの場合）オンライン研修環境
（オフラインの場合）プロジェクター、ホワイトボード
- 受講者用：（オンラインの場合）オンライン研修環境、ノート、筆記用具
（オフラインの場合）ノート、筆記用具

[タイムスケジュール]

日程	内容
AM	1. DX の現状 デジタイゼーション止まりの日本の DX GDP と人口減少、新規事業開発の必要性 2. 新規事業開発のプロセス 概要、新規事業市場機会の発見 3. 既存製品・サービスからの新規事業市場機会の発見 社内向けシステムサービスの外販 Amazon、楽天トラベル、その他 特定顧客向けサービスの外販 めっちゃコミック 既存製品のサービス化 コマツ KOMTRAX、アクアコインランドリー コネクテッド・カー お客様とのタッチポイントを変える 住友生命「Vitality」 (演習) 既存製品・サービスからの新規事業創造
PM	4. デザイン思考の活用した新規事業市場機会の発見 デザイン思考とは 各種プロセス定義 理解・発想・試作の 3 プロセス 理解：目的の設定、チーム作り、事前調査、 フィールドワーク、情報の整理、 ニーズ・インサイトの追究 発想：コンセプトに関するアイデア出し、アイデアの 評価、コンセプトの絞り込み 試作：プロトタイプを作成、物語作り、プレゼン評価 5. 発想プロセスで活用できるメソッド ブレインストーミング ブレインライティング オズボーンのチェックリスト 属性列挙法 (個人演習) オズボーンのチェックリスト・属性列挙法 マインドマップ マンダラ 仮想状況設定法・逆設定法・焦点法 アナロジー・メタファー (個人演習) マインドマップ、マンダラ 6. 新規事業開発成功のポイント ・失敗を恐れない ・既存事業と同じ基準で評価しない ・ボトムアップを生かす